

・教員の養成の目標及び当該目標を達成するための計画

本学は「人間性の涵養と実学の重視」を教育の基本理念とし、人への関心と学問の理解、柔軟な思考と表現力、未知の領域に挑む意欲、知識の応用と判断力、地域に貢献する積極的な態度の育成を目指します。本学における教員養成は、教職課程を通して、学校教育についての専門的な知識や子どもの成長発達についての理解といった教育職員としての知識理解や他者との協力やコミュニケーションによる子ども支援のための連携体制づくり、予測困難な場合においても、課題認識と探求心をもち、常に自己研鑽することのできる人材の育成を目的としています。

養成する教員像

看護学科が目指している、「生命の尊厳や基本的人権を擁護できる高い倫理観、幅広い教養に基づく柔軟な思考力」並びに「看護の現象・事象に対応できる高度な専門的知識・技術、看護専門職としての高度な実践力」をベースに、教育者としての学びを深め、学校現場で児童生徒の健康、発達を支え育む、教育の仕事を探求します。

また、子ども一人ひとりの健康を守り育てるための学校保健活動の中核を担うためのコーディネート力やマネジメント力を生かした教育実践のできる養護教諭を育てることを目指します。

目標を達成するための計画

1. 教育課程の編成

- ・教育職員免許法施行規則に定める科目を中心にカリキュラムを編成し、子どもの成長や発達についての理解、養護教諭に求められる専門的な知識・技術及び倫理の修得を図る。
- ・「教職に関する科目」「養護の教科に関する科目」「教科または教職に関する科目」で編成する。
- ・幅広い教養に基づく柔軟な思考力を身につけさせるために、学生同士の学び合いの中で、学問を探求し批判的思考力を持つことができるような教育を行う。
- ・教育職としての養護教諭の実践力を身に付けさせるために、教員の実践から事例を提示し専門職としての的確な判断を行い、質の高い教育を提供する能力を持つための教育を行う。

2. 学修方法・学習過程

- ・アクティブラーニングによる授業に取り組んでおり、主体的な学習の仕方を身につける。
- ・養護教諭一種免許状を取得したい学生は一年次から教職科目の履修を選択することができる。

3. 学習成果の評価

- ・成績評価にあたっては、シラバスに明示した各科目の到達目標、評価項目にもとづき公平かつ総合的に行う。

- ・「定期試験(中間・期末)」「小テスト・授業内レポート」「宿題・授業外レポート」「授業態度・授業参加度」「プレゼンテーション」「グループワーク」「演習」「実習」の 8 つの評価項目のうち複数を組み合わせて、100 点満点で総合評価する。
- ・4 年次の「教職実践演習」では、教職課程での講義や演習、実習を通じて、学生が身に付けた資質能力が、教員として必要な資質能力として有機的に統合され、形成されたかについて、養成する教員像や到達目標等に照らし合わせながら評価する。

4. 教職指導の取組

- ・教職専任教員が、毎学期開始時期に教職を志望する学生に向けたガイダンスを行う。
- ・履修カルテによる学生面談の実施、履修および進路に関する指導を行う。
- ・養護教諭のキャリアビジョン育成や教員採用試験対策のために、養護教諭の実務者を交えた「養護教諭フロンティア実践研究会」を隔月で開催する。